

(別紙 2)

令和 8 年度京都府北部福祉人材養成システム推進事業業務委託及び 令和 8 年度離職者等再就職訓練事業福祉即戦力人材養成科業務委託 に係る企画提案書作成要領

1 企画提案書の作成方法

- (1) A 4 版、横書きとする。(図表等は必要に応じ、A 3 版折込みも可。)
- (2) 文章を補完するための写真・イラストなどの使用は可とする。
- (3) 企画提案書には、極力、専門用語は使用しないこと。
- (4) 「2 企画提案書の記載内容」の項目順に沿った記載とすること。

2 企画提案書の記載内容

(1) 事業の管理

- ア 運営体制（事業別配置人数、指揮監督のあり方、苦情対応）を具体的に記載すること。
- イ 事業別の行程（業務完了に至るまでの過程）及び実施手法を具体的に記載すること。

(2) 企画提案内容

以下の全ての事業内容について、業界の状況や課題を分析した上で事業の実施方法等を記載すること。

また、企画に当たって創意工夫した点があれば併せて記載すること。

(各項目 A 4 用紙 5 枚程度とする)

ア 業界の魅力発信と効果的な就職支援（別紙仕様書の 3（1）関連）

介護・福祉の仕事の経験のない求職者等をターゲットに介護・福祉職場の魅力や働き方を周知する事業を提案し、事業をつうじて介護・福祉の仕事に興味を持っていただいた求職者等をカウンセリングや企業説明会への参加等就労支援につなげ、福祉職場への就職に結びつけるための効果的な手法を提案すること。

なお、提案は、きょうと福祉人材育成認証制度（以下、「認証制度」という。）を活用した内容とすること。

【目標数】

(ア) 新規登録者数	4 2 0 人
(イ) 年間延べ相談者(来所、出張、電話、メールを含む)	1, 3 0 0 人
(ウ) 就職内定者数(福祉人材カフェ担当のもの)	3 6 0 人
(エ) (ウ)のうち福祉職場への就職内定者数	2 0 0 人
(オ) (ウ)のうち正社員就職内定者数	1 1 0 人

イ 新規福祉人材養成事業の運営（別紙仕様書の 3（2）関連）

府北部地域において、福祉の即戦力人材を養成するためのプログラム(日程、会場、カリキュラム等)、訓練受講者の募集方法及び訓練修了者を介護・福祉事業所

への就職に繋げるための手法を提案すること。

また、府北部地域の関係団体・機関、事業所等が連携して取り組むための実施協力体制の構築及び講師研修について提案すること。

【目標数】

(ア) 訓練参加者数(丹後・中丹地域)	各15人
(イ) 訓練修了者の介護・福祉事業所への就職率	80%以上

ウ 魅力発信事業の検討及び運営（別紙仕様書の3（3）及び（4）関連）

きょうと介護・福祉ジョブネット(福祉現場の職員、関係団体、職能団体が参集し意見を交わすプラットフォームをいう。)のプロジェクトチームを運営し、府北部地域における地元人材及びシニア人材等の多様な人材の参入を促進するための年間計画を提案すること。

なお、提案にあたっては、多様な人材を受け入れる好事例の創出手法及び当該好事例の周知に活用する広報資材の概要を含めること。

(3) その他

その他特記事項について具体的に記載すること。

【特記事項の例】

- ・本業務と同種・類似業務の実績
- ・京都府内の本店、支店又は営業所等の有無
- ・子育て支援、ワーク・ライフ・バランス等の認定状況（詳細「落札者決定基準別表」参照）